



お問い合わせ・申し込み・資料請求先

〒399-1801 長野県下伊那郡泰阜村6342-2
NPOグリーンウッド「山賊キャンプ係」

TEL:0260(25)2861
FAX:0260(25)2850

受付時間 AM10:00~PM7:00 (土・日・祝日除)

FAX・E-mail は24時間受付可能です。
番号等お間違えのないようお願いいたします。

URL: <https://www.greenwood.or.jp>

ホームページからの申し込みも可能です。
インターネット割引実施中です。

E-mail: sanzoku@greenwood.or.jp

各種資料請求、お問い合わせが可能です。



待ちに待った夏休み
チャレンジは無限大!



5/16 (木) 申込開始
参加者募集!

インターネット割引実施中!

🔍 信州子ども山賊キャンプ
<https://www.greenwood.or.jp/>



* ごあいさつ *

信州・伊那谷の大自然を舞台に開催される「夏の信州こども山賊キャンプ」は、例年全国より多数のこどもが参加する日本でも有数の自然体験教育キャンプです。

非営利の教育活動としてのこれまでの実績が認められ、文部科学省、長野県、長野県教育委員会、林野庁、国土交通省地方事務所などの後援事業として実施しております。

昨今、青少年の体験活動の必要性が日本全国で叫ばれております。ぜひ信州の大自然と、NPOグリーンウッドのノウハウをこどもたちの健全育成の場所としてご活用いただきたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

CONTENTS

最長老より	1
山賊キャンプのおきて	2 ~ 3
山賊キャンプ各コースの紹介	4 ~ 9
山賊キャンプ基本メニュー	10 ~ 13
山賊キャンプのフィールド	14 ~ 15
山賊キャンプのスタッフ	16 ~ 17
主催者NPOグリーンウッドについて	18 ~ 19
山賊キャンプ3つのクオリティー	20 ~ 21
山賊ももちゃんの山賊Q & A	22 ~ 23
募集要項、持ち物一覧	24 ~ 30

※巻末に申込書がついております。

さあ、今年の夏は
どんな夏にしようか！
じっくり見て考えてね！



山賊ももちゃん

2024年 夏が来る！最長老より



最長老 だいち

全国のこども山賊の仲間たち！待ちに待った季節がやってきたぞ！今年の夏も太陽と水と緑がびっくりするほどきれいな「信州やすおか村」の大自然の中で思いきり遊ぼう！

こども山賊キャンプは、体の動く限り遊んで、遊んで、遊びまくるキャンプなんだ。今年もやりたいことに合わせて色々なコースを選べるようにしたぞ。だから、はじめてキャンプするお友だちからベテランのお友だち、低学年のお友だちや高学年のお友だちまで、思う存分楽しめるはずだ。全国各地からたくさん

のこども山賊の仲間たちが集まってくるぞ。新しく出会う顔。成長して再会する顔。ワクワクドキドキのこども山賊キャンプだね！

こども山賊キャンプは、「おきて」を守りながら自由に遊ぶ冒険キャンプだよ。とくに大事にしていることは、大きい子も小さい子も、力の強い子も力の弱い子も、東京の子も名古屋の子もそして全国の子も、お互いを認め合って知恵と汗を出し合う「支え合いの心」だ。支え合って暮らす苦労と喜びをたくさん感じよう！

こども山賊キャンプは、1日のスケジュールやみんなで守るルールなんかも話し合いで決めていくんだ。ご飯だって自分たちで火をおこして作るし、食器だって、遊び道具だってみんな自分でいってどンドン作っていける「手作りキャンプ」なんだよ！

太陽と共に起き、星と共に眠る。キラキラ光る川の水しぶき。さわやかに澄み切った朝の空気。心をとかしてくれるキャンプファイヤーの炎。こぼれ落ちそうな満天の星空。そして、一緒に暮らすかけがえのない仲間たち…。君も一緒にこども山賊キャンプでしか味わえない特別な時間を過ごそう！

山賊の長老たちは君に会えることを楽しみに待っているぞ！

さあ、今年の夏もここ「信州やすおか村」で、全国の仲間たちと一緒にとびっきりの思い出をつくろう！





山賊のおきて



とっても大事なことが書いてあるんだよ。もしわからない言葉があったらお父さんお母さんに意味を教えてください。おきてを守れることが山賊キャンプへの参加の条件だよ！

山賊キャンプのおきて

その一 君たち子どもが主役だ
山賊は仲間たちと話し合って暮らす。知恵を絞って力をあわせた分だけ楽しくなる。

その二 思いやりの心をもつ
年上は年下を、力の強い子は力の弱い子をしっかりと守り助けるのが山賊だ。一緒に暮らす仲間のことをいつも思いやるべし。

その三 食事は自分たちで作る
マキで火をおこす。仲間がたくさんいるから大丈夫。ちよつとくらいコゲたつて、自分たちの力で作ったごはんはおいしいに決まっている。

その四 チャレンジが基本だ
山賊キャンプでは、いつもチャレンジの心を持つことが基本だ。難しいけれども、乗り越えたときに、君にとっての一生の思い出になるだろう。

その五 働かざるものクウベカラズ
遊びだけスゴクても、山賊とは言えない。食事の準備、火おこし、片づけ、寝床作り、そうじ……。暮らすための仕事はいっぱいだ。

その六 あいさつをする
山賊の仲間づくりはあいさつから始まる。初めて出会った仲間に、勇気を出して声をかけよう。村の人に出会ったら、元氣よくあいさつしよう。その瞬間、君は山賊になる。

その七 仲間はずれは許さない
山賊はケンカする。でもイジメは許さない。一人の喜びは人数倍にして、みんなで笑う。一人の悲しみは人数で割って、ともにわかちあう。山賊キャンプではそんな仲間を作りたい。

その八 山や川は大事な友達だ
やすおかの山や川、空や大地はとってもきれいだ。どうすればこの大事な自然を汚さないで楽しく暮らすことができるか？山賊はそんなことをみんな考えてる。

右、こころにきぎさんだ者
信州やすおかの山賊
となることを許可する

二〇二四年 夏 最長老 大地



山賊キャンプ各コースの紹介



山賊キャンプにはベーシックコース・チャレンジコース・スーパーコース・ゼロコースの4つのコースがあります。同じコースならどれも同じ？
 そんなことはありません！参加する仲間たちやその時の天気や出来事によってどれひとつとして同じキャンプにならない。それが山賊キャンプのおもしろいところです。
 期間やフィールドによってできること、チャレンジすることは少しずつ違います。体力ややってみたいことで選んでください。

自分に合うのはどのコースかな？
選べる4つのコース

- B** **ベーシックコース** 山賊キャンプの基本コース。ご飯を作って食べる、遊ぶ、寝るという「自分たちの力で暮らしを創る」ことを存分に楽しむキャンプ！
 B1・B2組30名/他50名
- C** **チャレンジコース** ベーシックよりちょっとハードなコース。少し不便なあたりでは水や薪を運ぶなど仲間と協力しないと暮らせない、チャレンジャー向けキャンプ！
 各組30名
- S** **スーパーコース** 最もハイレベルな長期間コース。カヌーなど特別なアクティビティにチャレンジできる！トラブルも本気でぶつかり乗り越え、本当の仲間を創るキャンプ！
 各組20名
- Z** **ゼロコース** 山賊の原点を極めるリピーター限定コース。何もない＝ゼロから創る！を合言葉に、火をおこし、水を汲み、寝床も作って暮らす。ないから生み出す、を楽しむキャンプ！
 20名※小学4年生以上
 リピーター限定



	7/23 (火)	7/26 (金)	7/29 (月)	8/1 (木)	8/5 (月)	8/9 (金)	8/12 (月)	8/16 (金)	8/19 (月)	8/25 (日)
B	B1組 3泊4日 35,500円	B2組 3泊4日 35,500円	B3組 3泊4日 35,500円	B4組 4泊5日 47,000円	B5組 4泊5日 47,000円	B6組 3泊4日 35,500円	B7組 4泊5日 47,000円	B8組 3泊4日 35,500円		
C		C2組 3泊4日 35,500円	C3組 3泊4日 35,500円	C4組 4泊5日 47,000円	C5組 4泊5日 47,000円	C6組 3泊4日 35,500円	C7組 4泊5日 47,000円	C8組 3泊4日 35,500円		
S				S1組 8泊9日 114,500円					S2組 9泊10日 129,000円	
Z						Z1組 4泊5日 57,500円				

※上記参加費に交通費は含まれてはおりません。

基本のキャンプ

Basic ベーシックコース

山賊キャンプの全ての基本はここにある！ 山賊度 ★★★★★



「自分たちの力で暮らしを作る」という山賊キャンプのポリシーを大切にしたい、基本のキャンプ！
 キャンプで何をやるかは、山賊会議で子どもたちが話し合いをして決めていく！どこか懐かしい里山の自然の中で、仲間たちと協力して暮らし、時間も気にせずいっぱい遊ぶ。夜にはこぼれ落ちそうな星空の下で、流れ星を眺めながら友達と枕を並べて寝る。
 そんな素朴な自然体験の基本を存分に味わうことができるのが「山賊キャンプ・ベーシックコース」だよ。

寝る 寝るところのすぐ近くに本部棟やトイレがあるから、安心だね！

遊ぶ 遊びのアイデア無限大！小さい子から大きい子まで楽しめる！

食う 火おこしから作ったご飯！みんなで食べるとさらにおいしい！

働く 働かざるもの食うべからず！自分たちで作ったご飯を食べた後は食器洗い！

ベーシックコース4泊5日
 スケジュール (例)

1日目	13:00 東京バス 出発	15:00 名古屋バス 出発	18:00ころ 全員集合 「こんにちは」 山賊カレー	山賊会議 おきての確認 危険なところ確認 全員でスケジュール決め	21:00ころ 全員就寝 「おやすみなさい」	
2日目	朝づくり 朝ごはんづくり グループごとに同じ食材が配られそれぞれでメニューを考えて作ります。初めての朝ごはんづくりはハブニングも盛りだくさん？！	遊び※ ★工作 ★川遊び ★沢登り ★ドラム缶風呂 ★ハイキング ★虫とり など	お昼ごはん 行動食のパンなど	遊び※ ★工作 ★川遊び ★沢登り ★ドラム缶風呂 ★ハイキング ★虫とり など	夕ごはん づくり スタート！ 3日目の夕ごはんづくりのころにはチームワークもできてきて…！	夜のプログラム ★キャンプ ★ファイヤー ★肝試し ★野宿 など
3日目			休息			
4日目			シャワー 荷物整理など帰る準備			
最終日	朝ごはん 行動食のパンなど	東京バス 出発 名古屋バス 出発				

※山賊会議で決まるプログラムは組ごと大きく異なります。
 ※遊びの場面ではみんなで決めたプログラムの中からそれぞれがやりたい遊びを選びます。グループごとの活動ではありません。
 ※チャレンジコースも基本は同じスケジュールです。

ベーシックコースよりちょっぴりワイルド!

自由度満点! 仲間とチャレンジしよう!

山賊度 ★★★★★

C challenge チャレンジコース



「チャレンジあじと」は、ベーシックキャンプ場から離れた場所にある。ちょっと不便なフィールドだからこそ仲間の協力がないと暮らせない! 基本はベーシック。だけど、ちょっぴりハードにワイルドにキャンプを楽しみたいという山賊にはもってこいのコースだ。それではどんなチャレンジが待っているのか、3つの特徴を紹介するよ!



チャレンジコース3つの特徴

その1 合言葉は『仲間とチャレンジ!』

「チャレンジあじと」は「ベーシックあじと」とは違って、水道も新置き場も近くにないから、生活するために水くみ(バケツリレー)や薪運びをみんなで作る。だからベーシックコースの何倍も苦労する! もちろん、一人で出来ないことは仲間と協力して乗り越える。『仲間とチャレンジ!』それがチャレンジコースの合言葉だ! その困難を乗り越えた仲間たちは、きっと固いきずなで結ばれる!

その2 みんなでつくるチャレンジコース!

チャレンジコースの参加者はベーシックコースより少ない人数だ。だから一人ひとりの声や考えがより大切になってくる。みんなが生活していく中で困ったことがあったとき、また、キャンプを楽しむためにどうしたらいいか、それをみんなで話し合う! 君たちの意見次第でチャレンジの幅はもっともっとひろがるぞ!

その3 スーパーコースへの登竜門!

スーパーチャレンジメニューはないけれど、秘密の場所を探しに行くこともできる。自分たちのあじとに新しい遊び場をつくることだって可能だ! そんな未知への挑戦ができるのがこのチャレンジコースだ!



チャレンジ水くみ毎年人気だよ!!



Z ero ゼロコース

山賊の原点を極める特別コース!!

山賊度 ★★★★★

何もない=0からつくる

電気・ガス・水道がない! × 秘密のゼロフィールド! × マッチもない! = 自分たちでつくりだす楽しさ!

ベーシック、チャレンジ、スーパー…。他の山賊キャンプのどのコースにも、暮らすためのテントやキャンプ場は初めから準備されているよね? でもこのゼロコースは違うよ! 寝るための建物はもちろん、台所やトイレもない。それに電気やガス、水道だって通ってない。だからこそ、キャンプを楽しむために必要なものは自分たちでつくりだす! 最小限の道具で工夫して暮らしていく。それがゼロコースの一番大変で、一番楽しいところなんだ!

ゼロコース参加条件

ゼロコースはいままで山賊キャンプとは一味違うぞ! だから、参加するみんなにも厳しい条件がある! それは、下の3つの条件! これがゼロコースの参加資格だ!! いままで山賊キャンプのどのコースよりも、自由な発想と工夫が大切になってくるのがこのゼロコース! 何もない場所で自分たちだけのキャンプを創りだそう!!

その1 山賊キャンプリーダーである

その2 小学4年生以上である

その3 「0(ゼロ)」から生み出すチャレンジ精神!!



マッチを使わずに火起こしするのがゼロ山賊!



力を合わせて、ゼロ山賊だけのとおきのあじとを創ろう!



トイレも自分たちで作るよ!!



いままでになかった新しいワクワクが待ってるぞ!!

*写真は、過去のゼロコースの様子です。今年の活動場所・実施プログラムは変更する可能性があります。

山賊キャンプの中で最もハイレベル

山賊キャンプを極めよう！ 山賊度 ★★★★★

Super

スーパーコース

勇気あるこどもたち！
カヌーやシャワークライミングに挑戦だ！

山賊の中の山賊
なんて
あこがれる～！



最長老 だいち より



「このキャンプは、ちょっと違う。勇気がないと参加できないし参加してもつまらない。でも、勇気あるこどもならOK。どんな勇気かという、山賊キャンプの"おきて"を自分たちで守っていける勇気だ。みんなで協力して暮らしを築き上げて、その仲間とカヌーやリバーフローティングに挑戦するから強烈に楽しい。本当の仲間を作る勇気のある君たち、チャレンジしてみないか？」



山賊キャンプ(スーパーコース)はフジテレビ『たけしの日本教育 白書直前スペシャル』や雑誌『日経キッズプラス』でも取り上げられたよ。



かけがえのない
本当の仲間づくり

スーパーコース3つの特徴

- 自然体験** やすおか村をフィールドとしたダイナミックな自然体験
カヌー・ウォータースライダー
リバーフローティング・シャワークライミング
飛び込みなど
- 生活体験** 自分たちで手がける生活体験
食事作り・風呂焚き・話し合い(山賊会議)
薪割り・チームワークなど
- トライ&エラー** 体験を体験で終わらせない
ふりかえり&フィードバック学習
長期だからこそ、「トライ&エラー」を重視

Education talk

中・長期キャンプのよさって？



1日、2日くらいはこどもも猫をかぶっていい子でいられます。でも5日、6日と寝食を共にするとだんだんと本音が出てきます。時にはケンカもおきてきます。でも1週間、10日とたつといろいろな友達の個性を認め合い、本当の仲間としてのチームワークが生まれてきます。大人に言われなくても、協力し合ったり譲り合ったりできるようになるのです。

3つのスーパーメニュー

3つのチャレンジメニューの中から期間中に2つのメニューに挑戦するよ！



スーパーメニュー①

天竜川 カヌー
&
スペシャル
リバーフローティング



天竜川でカヌーに乗って約5km(約1時間)のライン下りにチャレンジします。



スーパーメニュー②

万古川
ウォータースライダー
&
渓谷沢登り



秘境万古渓谷でのウォータースライダーや沢登りにチャレンジします。



スーパーメニュー③

和知野川
リバーフローティング
&
飛び込み



天竜川の支流、和知野川で川遊びをします。飛び込みをしたり、ライフジャケットを着て上流からのリバーフローティングにチャレンジします。



食材は村内の農家さんから！

秘スーパー情報



大家族！

暮らしの学校いだらぼっちの母屋やあんじやね自然学校の施設をベースに活動するよ！



みんなで生地からピザ作りに挑戦！

今日のご飯のメニューは？もちろん野外料理だって構わない。何をするかは君たち次第だ！



お風呂は薪でたく五右衛門風呂

お風呂を焚くのに必要な薪を割るよ！

泰阜村全体が遊び場だ！

みんなのチャレンジによっては、自分たちで作った秘密基地で寝たり、テントを張ったり！

新しい遊びを開拓できるのもスーパーコースだよ！時には誕生日会や泰阜村探検も！この日は秘境「田本駅」まで探検です！



※スーパーメニューは安全確認のため期間中の天候・参加者の体調・チームワークなどを考慮し、主催者側でメニューの実施の判断、決定をさせていただきます。
※スーパーコースは作文の提出が必要となります。詳しくは募集要項をご確認ください。



山賊キャンプ 基本メニュー

山賊ももちゃんと一緒に山賊キャンプでどんなことをするのか見てみよう！
BCS どのどのコースもこれらのメニューが基本になっているよ！



山賊会議

～ どのコースに参加するにも大切 ～

山賊キャンプでやることや暮らしのルールなどは、基本的に全員参加の「山賊会議」で決めていくよ。一族（グループ）のこども代表=おかしらを中心に話し合いをすすめて、期間中にやりたいことなどの意見を出し合い、自分たちで計画を組み立てていくんだ。

また、楽しい場を作っていくために、暮らしの中で困っていること、悲しんでいること、変えたほうが良いことなどをみんなに伝え、全員で今起こっている問題を解決していくよ。他にも、全体行事などについて、「おかしら会議」が開かれることもあるよ。



303のスケジュール

	あ	ひる	よる
1日		バズ	山賊カレー 山賊会
2日	アわあび	山賊会 山賊会 木のぼり	のじゅく かんづ
3日	工作 工作 川あそび	川あそび 工作	きもめい のじゅく

☆ Point

自分たちで山賊会議というコミュニティを運営することによって、主体性の発揮を促し、コミュニケーション能力を育み、そして自分たちで決めたことを実行するという責任感を培っていくことを狙っています。

キャンプで何を
するのはみんな
で決めるんだよ。



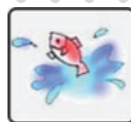
火おこし・食事づくり

朝・夕の食事作りは山賊キャンプの大切な活動だよ。メニュー決めや、薪を使って火おこしするところからはじめるんだ。みんなで作ったご飯はおいしいよ！

☆ Point

なぜ、わざわざ手のかかる食事作りをするのか？それは、手のかかるちょっとめんどつな暮らしの作業の中にこそ、こどもたちの主体性が発揮される場面があるからです。「待つ」から「関わる・動く」へ。食事作りを通して、主体性とチームワークを学びます。

※昼は、遊びの時間を確保するため行動食となります。



チャレンジ川遊び・沢のぼり

びっくりするくらい水がきれいな川で遊ぶよ。チャレンジする気持ちがある子は、上流の大きな滝をめざして沢のぼりだ！



☆ Point

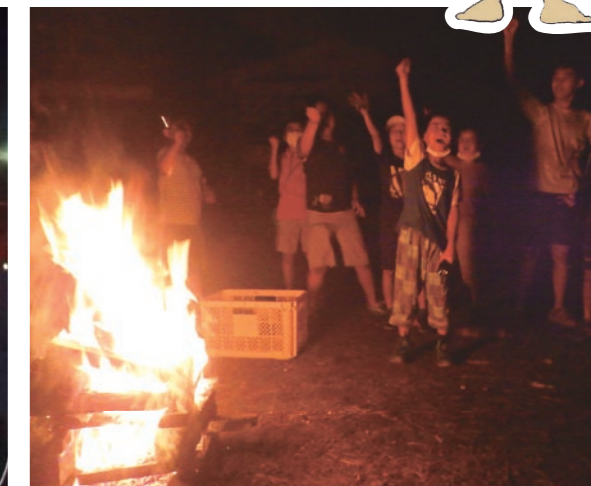
「チャレンジ」とは、今の自分から一歩踏み出すことであり、その踏み出すプロセスにこどもたちの「学び」と「成長」があります。沢のぼりは自分、仲間とのチームワークを試す、そして未知へのチャレンジです。



山賊キャンプファイヤー

自分たちで考えて、実行するキャンプファイヤーは歌あり、ダンスあり、ゲームあり?! みんなでつくるキャンプファイヤーは最高! きっとみんなの心に残るよ。

みんなで企画する
キャンプファイヤーだよ!



Education talk

なんで「山賊」なの？



こどもが成長していくためには、安心して自分を出せる環境が不可欠。山賊というユニークなコンセプトは、キャンプを楽しむ雰囲気にして、より開放感を与えてくれます。山賊仲間には大人もこどももキャンプネームで呼び合い、仲間とのかかわりに親近感を高めます。「安心と楽しさ」がキーワード。



ドラム缶風呂・ゴエモン風呂

山賊キャンプで人気の基本メニューだよ。川から水をくみ、薪を使って火をおこすよ。煙に負けずに一生けんめい温めてね。

☆ Point
 こんなちょっとめんどくさい作業がどうしてこんなに楽しいのでしょうか？それは、自分たちで一から始め、失敗しては知恵を出し合い工夫して、焚き上げたお風呂に入るといことが「楽しい」からです。仲間のために焚くことが「楽しい」と感じられた時、本当の思いやりを学びます。



ネイチャークラフト



自然の中にあるものを材料にして何ができるかチャレンジしてみよう。自分で考えること、工夫すること、作ること、きっとその楽しさに気づくはず！完成したものは、世界でただ一つ自分だけの大切な作品だよ。おもいきり胸を張ってしまっしてね。



野宿

山賊キャンプの隠れた人気NO.1だよ。テントのあのせまい空間もいいけど、やっぱり星空を見上げながら、広い大地にねころがるのはすっごく気持ちいい！一度やってみたらきっと夢中になるよ。

☆ Point
 夜空を埋めつくす無数の星、一筋の流れ星、ホタルが飛び、木々がざわめき、川のせせらぎ、鳥の声…。夜の世界は人間の五感が研ぎ澄まされます。きっとこの夏一番の思い出となることでしょう。

※野宿は、毎年半分以上のこどもがチャレンジしています。安全管理を徹底しておりますので、原則希望すればだれでもチャレンジすることができます。
 ※ただし、天候及び参加者の体調などを考慮し、主催者側で実施を見合わせる場合もございます。あらかじめご承知おきください。



Education talk

どうして自然体験なの？



こどもは体験をもとに理解するといわれ、体験活動は学力を支える基礎となるといわれています。しかし、いまのこどもたちには、その理解の基礎となる直接体験の機会が不足しています。山賊キャンプは直接体験の機会はもちろんのこと、その体験をふりかえり、仲間と共有し、次の日に生かすことを促進（ファシリテート）しています。このようにしてこどもの学びと成長を支えているのです。



森の探検・ハイキング・山のぼり



キャンプ場周辺のショートハイクやお弁当を持ってロングハイクにもでかけるよ。時にはキャンプ場からちょっとはなれた場所にある大峰山へ登山にでかけたり、山道を探検したりもするんだ。大峰山から見る天竜川や泰阜村の景色は最高！太陽がしずんだら星空やホタルを見にナイトハイクにも行けるよ。



虫とり・いきものを探そう！

キャンプ場にはギンヤンマ・カブトムシ・クワガタ・カエル・カニ・アカハライモリなどたくさん生き物たちが住んでるよ！大自然の中で色々な生き物たちとふれ合ってみよう！



朝づくり

この地域（泰阜村）に昔からある生活習慣で、“朝飯前のひと仕事”という意味があるんだ。山賊キャンプの暮らしにはすっごく大切なことだよ。

☆ Point
 身の回りの掃除は何もキャンプに限ったものではなく、むしろ日常生活において重要な活動です。こどもたちはごみ捨て、テントそうじ、トイレそうじなどを自分たちで決めて行います。



Education talk

こどもに火を任せるといふこと



火を扱うことや刃物を使うことは、ある意味危険なことです。しかし、野外生活では、火や刃物を使わないと生活になりません。規制するよりもむしろ、きちんとした使い方を教え信頼して任せることで、こどもたちは驚くほどの主体性を発揮するものです。こどもと大人が信頼しあうことによる相乗的成長も山賊キャンプの大きな特長です。

山賊キャンプのフィールド

山賊が暮らしたり遊んだりする場所を紹介するよ



バスから降りて約10分
荷物を背負って歩くよ!

1 左京川キャンプ場 ベーシックコースあじと

イモムシテント、通称『イモテン』と呼ばれる80人ほどが寝られる大きなテントでみんなで寝袋を並べて眠るんだよ。でも、野宿して満天の星空を眺めながら眠りにつくのも楽しいよ。そして、ベーシックキャンプ場の下には清流・左京川が流れているよ。アマゴも泳ぐこの川で思う存分川遊びを楽しもう。そして、イモテン裏の田んぼではホタルも見られるよ!



左京川
キャンプ場

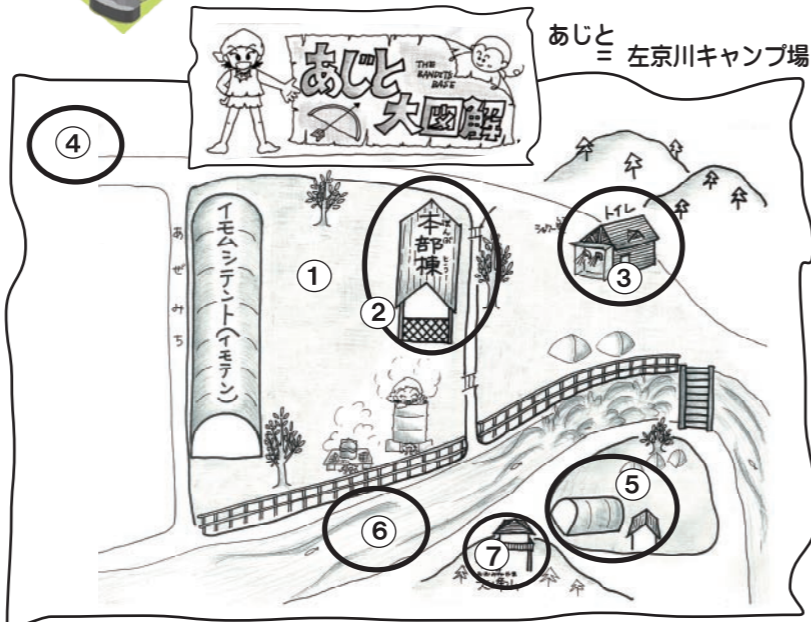


2 本部棟

ここには公営水道を完備しています。あわせてキャンプ現場の運営本部がおかれ、スタッフが常駐します。そのほか食料庫・物資庫・保健室・全体の台所機能も備えています。

健康的なキャンプ生活をサポートするための簡易水洗トイレです。外灯も設置しており、夜でも安心してトイレに行けます。

3 トイレ



4 左京川キャンプ場 チャレンジコースあじと

ベーシックコースキャンプ場から少し離れたところにある田んぼに囲まれたちょっと不便なキャンプ場。

5 桑の木広場 (チャレンジコース第2あじと)

ベーシックコースキャンプ場の川向うにあるチャレンジコース第2のあじとです。ここでお昼ご飯を食べたり工作することもあります。



4



5

6 左京(さきょう)川



キャンプ場のほりに流れる清流で、おどろくほど透きとおった水です。小さい子でも楽しく遊べます。下流には天然ため池プールがあり、飛び込んで遊ぶことができます。また、上流へ行くと沢のほりも楽しむことができます。



7 大峰(おおみね)山



暮らしの学校だいだらぼっちから約30分程で登れます。山頂から眺める天竜川は絶景です。

8 暮らしの学校 だいだらぼっち



NPOグリーンウッドが主催する1年間の山村留学事業に参加することもたちが暮らす宿舎です。スーパーコース(S1組、Z1組)のあじともなります。

10 天竜(てんりゅう)川



ここでカヌーツーリングやスペシャルリバーフローティングに挑戦します。諏訪湖から太平洋に流れ込む一級河川です。

12 和知野(わちの)川



やすおか村のお隣、天龍村を流れる和知野川。リバーフローティングをもってこの清流です。

やすおかMAP



山賊キャンプを実施するのは長野県の南端天竜川が底を流れる深い谷が続く山間の村。人口は焼く1500人ほど、国道も信号もコンビニもないですが、緑あふれ逃さる川の水が美しい、自然豊かな桑阜村だよ。



9 泰阜村立 あんじゃね自然学校



いざというときの避難場所のひとつがここあんじゃね自然学校です! 体験活動を推進するために建てられた村立の建物です。スーパーコース(S2組)のあじともなります。

11 万古(まんこ)川



信州の秘境「万古川」。ここではウォータースライダーが楽しめるだけでなく、アマゴが泳いでいる姿も見ることができます。

山賊キャンプのスタッフ

NPOグリーンウッドの専任スタッフ陣

NPOグリーンウッドは、自然体験教育活動の専門組織として、多数の常勤スタッフを擁しております。全スタッフが地域住民となり、暮らしに根づいた活動を展開しています。山賊キャンプでは専任スタッフを中心に指導者研修を修了したキャンプリーダーがキャンプを力強くサポートします。



だいち (辻英之)

「何も無い村」の暮らしの文化に内在する教育力を信じぬき、こどものみならず青年や地域住民など、関わる人々すべてに学びがある質の高い体験活動の提供をめざす。最近、大学講義や講演、出版など普及啓発に力を入れる。著書に「奇跡のむらの物語〜1000人のこどもが限界集落を救う！」(農文協) 1970年生。福井県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド代表理事
 - ・泰阜村総合戦略推進官
 - ・青森大学教授
 - ・立教大学・九州大学・福井県立大学大学各講師(非常勤)
 - ・公益社団法人日本環境教育フォーラム理事
 - ・NPOこどもたちのアジア連合副代表
 - ・NPO自然体験活動推進協議会常任理事



バス (矢加部優)

大学在学中、学生による自然の中での集団宿泊研修を企画・運営する。小学校教育を学ぶ中で自然体験に興味を持ち、ボランティアとして山賊キャンプに参加。グリーンウッドの教育観に共感し、参画。1990年生。埼玉県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド事務局長代理
 - ・NPOグリーンウッド地域・幼児教育チーム
 - ・レスキュー3 (スイフトウォーターレスキューテクニシャン・レベル1)



くみ (緒方公美)

農学部で森林・林業について学ぶことや、鹿児島島の田舎での地域振興に関わる活動を通して自分自身の自然体験を重ね、持続可能な社会の創出に貢献したいと考え始める。主体的な学びと認め合いの心を信じ、グリーンウッドで実践したいと思参画。1996年生。福岡県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド企画推進チーム
 - ・レスキュー3 (スイフトウォーターレスキューテクニシャン・レベル1)



くる (岡田くるみ)

小学校5年生の時、暮らしの学校いだらぼっちに1年間参加し、自分自身の「ねっこ」が育つ経験をする。大学卒業後、ありのままの自分を安心して発揮できる居場所を作りたいと思い、教育現場や地域のカフェで活動する。その中で、教育を通して違いが豊かさになる場を大切にしたいと思参画。1999年生。埼玉県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド企画推進チーム
 - ・NPOグリーンウッド地域・幼児教育チーム



しん (齋藤新)

大学を卒業後、出版業界へ。根元の教育に携わることが「世界平和」、「日本の未来創り」につながると考え、児童書の編集に携わる。その後実践できる活躍の場を探していた中で、グリーンウッドに出会う。現在は事務局長として、キャンプ統括や、全事業のマネジメントを行う。1974年生。千葉県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド専務理事
 - ・NPOグリーンウッド事務局長
 - ・NPOこどもたちのアジア連合理事
 - ・自然体験活動(CONE)トレーナー
 - ・自然体験活動(CONE)リスクマネージャー
 - ・認定ファンレイザー



もーりい (森久哲)

北海道の自然の中で川を中心とした自然体験活動や暮らしの中の学びを探索する「教育内容方法学」を専攻。2年間の中学校家庭科教員を経たのち、学びの本質や共に生きることに興味を持ち、グリーンウッドに参画。暮らしの中の“てづくり”を大切にしている。1982年生。奈良県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッドいだらぼっちチーム
 - ・レスキュー3 (スイフトウォーターレスキューテクニシャン・レベル1)
 - ・ウィルダネスファーストエイド(野外・災害救急法)ベーシックレベル受講



あお (伊藤真菜)

大学卒業後、自分自身の視野や価値観を広げるためにデンマークとネパールに留学。多様なバックグラウンドをもつ人たちの共同生活やホームステイを経験するなかで、「暮らし」から得られる学びや、実際に「体験する」ことの価値に気づく。「暮らしから学ぶねっこ教育」を実践するグリーンウッドの事業と考え方に共感し、参画。2000年生。神奈川県出身。

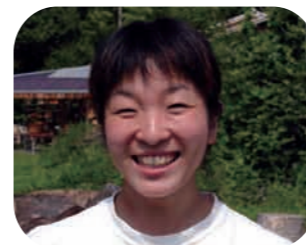
- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッドいだらぼっちチーム



なるこ (寺井朱里)

学生時代、代表社の授業を履修し、グリーンウッドを知る。自分の経験を持って、生きていく中にある面白さや豊かさを伝えていける人になるためには、地域や自然に根差した暮らしを丁寧に重ねる経験が必要だと思参画。1998年生。神奈川県出身。

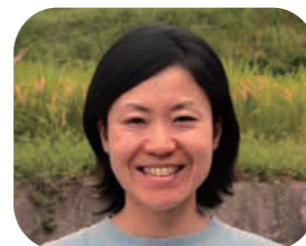
- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッドいだらぼっちチーム



なおみち (森奈央美)

大学で社会福祉、保育学を学ぶ。名古屋の保育園で保育士として5年勤務した後、「人が育つ環境づくり」の原点である「暮らし」をみつめたいと考えグリーンウッドに参画。やすおか村民としても家庭、社会づくりの肝を学ぶ日々。1977年生。愛知県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド総務チーム



ばる (齋藤晴子)

大学卒業後、国際開発に携わりたいと建設業界へ。海外赴任中、国際問題の解決には次世代を担うこどもの教育が必要と感じグリーンウッドへ転職。豊かな子育て環境を作り広めるべく、地域でのつながりを大切にまずは自身の子育てから実践中。3児の母。1978年生。東京都出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド総務チーム
 - ・泰阜村教育委員



みけ (村上由紀)

千葉で幼稚園教諭として4年間勤務した後、グリーンウッドに参画。人と人とのつながりを丁寧に楽しくもてるように日々のお会いを大切にしている。地域の活動にも積極的に参加し、地元やすおか村の人たちとのつながりを持つことにも力を入れている。1965年生。千葉県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド地域・幼児教育チーム
 - ・救急救命法国際(MFA)インストラクター



のり (辻典子)

北海道の僻地での教員生活を経てグリーンウッドに参画。2男1女の母。こどもたちが夢をもって未来を語れるような社会になるよう、足元の教育や地域づくりを大事にしている。1971年生。大阪府出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド総務チーム



いと (吉田愛都)

在学中、教職課程にて教育を学ぶ。また岩手県紫波町への間伐体験ツアーを企画、運営。タイで行われているワークショップに参加し、そこで地域教育の重要性を感じグリーンウッドに参画。1児の母。1991年生。東京都出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド企画推進チーム
 - ・NPOグリーンウッド総務チーム



かに (梶さち子)

東京で幼稚園教諭として4年間勤務した後、やすおか村に移住して自然体験活動の道に入る。1986年から地域の暮らしから学ぶオールタイムスクールとして「暮らしの学校」を設立。1954年生。福島県出身。

- <現在の役職・資格>
- ・NPOグリーンウッド会長

《NPOグリーンウッドスタッフ陣の資質について》



NPOグリーンウッドは、スタッフの資質として、「常に研鑽する」という姿勢を重視しています。日々の暮らし、活動の場面、こどもとの会話等、常に「学び」のアンテナを張るよう心がけています。また、自然体験活動を安全かつ効果的に実施するために、資格や免許取得も奨励しており、スタッフ陣は、教員免許、文部科学大臣認定キャンプインストラクター・インストラクター、自然体験活動推進協議会(CONE)資格、急流水難救助資格(レスキュー3)救急救命国際資格(Medic First Aid®)などの各種資格・免許を取得しております。

《山賊キャンプスタッフの『講演』活動》

全国各地で講演会・研修会・セミナー等と呼ばれています。グリーンウッドの教育理念に共感が集まっています。



実績

- 講演テーマ(対象)
 - ・こどもの豊かな育ちと環境づくり〜こども山賊キャンプの実践から(学校PTA、幼稚園)
 - ・子どもらしい顔を取り戻せ!〜山村の暮らしが育むところから〜(行政、大学、学校、幼稚園)
 - ・ひとづくり×地域づくり=素敵な未来!(行政、大学)
- 研修テーマ(対象)
 - ・安全管理とこどものかかわり方(保育園)
 - ・リスクマネジメント研修(自然体験団体、プレーパーク、災害教育センター、大学)
 - ・体験プログラムの作り方・指導法(自然体験団体、農家民宿)

グリーンウッドが目指す社会

未来づくりは教育から こどもたちに社会を創り出す力を

こどもに必要なのは自由な場です。自由な場があれば、存分に遊び、生み出し、仲間と関わり、時に失敗やぶつかり合い、くじける中でも自らを成長させ、こども同士で小さな社会を創り出します。

今、必要なのはこどもたちの主体を取り戻すことです。

こども時代の「わたし」と「あなた」の間にある小さな社会を創る体験はやがて世界を変えるエネルギーとなります。社会を構成する一人ひとりを「社会をより良く創り出す人」に育てる教育を通じ、世界を安心と希望を持てる社会に変えていきます。

私たちが目指す世界～VISION

あんじゃねえな社会の実現 ～誰もが安心と希望を持って明日を迎えられる社会を創り出す～



地球規模の気候変動や戦争、経済不安や政治不信、広がる格差や価値観の分断…。現代社会では明日を安心して迎えることが難しい人たちが増えています。グリーンウッドが考える安心な社会とは、性別や考え、価値観といった一人ひとりの「違い」を豊かさに変え、お互いの自由が守られ、大切にされること。そして、自然災害や紛争などに怯えず、未来に希望が持てる社会です。正解のない問いがあふれている現代社会。わたしたち人が生み出した課題ならば、私たちが解決できるはずです。

私たちが担う役割～MISSION

ひとねる ～「あなた」の世界を変えられる 自分たちの社会を創り出す力を育てる～

課題山積の現代社会。けれど「あなた」がいる小さな社会を少しだけ、より良い場所に変えることはできます。そのために必要なのは教育です。

「できるという実感」からこどもたちに主体を取り戻すこと。そして、自然と暮らし、人と関わる中で、社会を変えるための力「主体性と多様性、協働と創造。それらをつなぐ対話の力」を育てていく。その積み重ねがやがて大きな社会を変革します。

実践で培った教育理論～ACTION

暮らしから学ぶねっこ教育 ～誰もが主体者であり、多様な人たちと関わり、社会とつながる そして「正解がない」暮らしを学び場に～

暮らしは必然です。誰もが主体者であり、人と関わることで成り立つ場所です。暮らしは社会の一部であり、暮らすことは生きることの全てです。

自ら動くことで変化する毎日、できたという自信、積み重ねで豊かになる日常、好きなことやたくさんの人との出会いという種が蒔かれ、巻き起こる偶然と必然、成功も失敗、全ての経験が人を育てる栄養となります。

自ら学び、自らを育て、自らを支えるねっこを太く長く育てる教育「暮らしから学ぶねっこ教育」で人を育てていきます。



**28の
受賞歴**

- 2023年 オーライ！ニッポン大賞 グランプリ 内閣総理大臣賞
- 2021年 ティスカバー農山漁村の宝
- 2020年 第15回マニフェスト大賞「優秀政策提言賞」
- 2020年 第8回環境省グッドライフアワード環境大臣優秀賞
- 2017年 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰
- 2017年 第5回 信州協働大賞 大賞受賞
- 2012年 地域づくり総務大臣表彰 等々

数々の賞を受賞したグリーンウッド。どれもグリーンウッド独自の教育的視点について評価されております。

**910超の
マスコミ
実績**

- NHK総合『にっぽん紀行』
- フジテレビ『07たけしの日本教育白書直前スペシャル』
- 日経KIDSプラス ■AERA with Kids
- Benesse進研ゼミ小学講座 チャレンジ通信

ほか多数の新聞・雑誌にて主催事業「暮らしの学校だいだらぼっち」及び「信州こども山賊キャンプ」が取り上げられております。

**評価された
グリーンウッド
の教育方式**

暮らしから学ぶ「ねっこ教育」

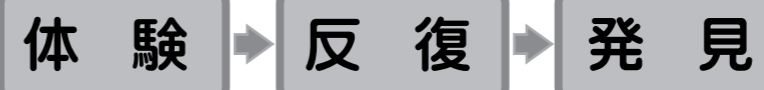
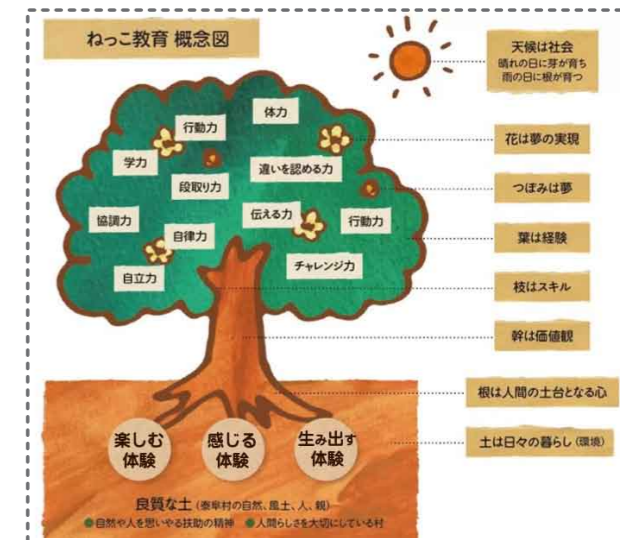
■ 人間の土台を作る「ねっこ教育」とは？

枝葉や果実ばかりを育てると木も重さで折れてしまいます。大切なのは自らを支え、自らを育てる根っこが丈夫であることです。人も同じではないでしょうか？スキルや学力、知識をたくさん持っていても、正しく使える心がなければ間違いを犯したり、否応のない困難にぶつかったときに心が耐えられなくなり倒れてしまいます。人のねっこは誰もが主体者であり、必然である「暮らし」で育ちます。私たちは「暮らしから学ぶ ねっこ教育」と称し、様々な年代に応じた体験活動を提供しています。

■ こどもの学びを進めるサイクル

物事を理解するために必要なのは「体験」です。そこで「まずはやってみる」ことから始めます。次に「反復」です。繰り返すことで体験したものを多面的に捉えたり、習得したり、理解がはじまります。最後の「発見」では、自ら得たものを言語化や知覚によって確実な理解へとつなげ、次のチャレンジや探究といった学びの行動へとつなげます。このサイクルはまた新たな「体験」を生み出し繰り返されることで、学びはスパイラルアップし、深化と進化を続けるのです。

私たちグリーンウッドはこどもたちを育てる最も重要な要素は、サイクルが生み出される体験と捉えています。



楽しむ体験

「楽しむ」とは、「楽」であることとは違います。「できなかったことができる」「知らないことを知る」という自分の世界が広がっていくことだったり、手間がかかったり、困難や失敗を「乗り越えられた」という達成感であったり、そこで得た成長や、他者と「思いを共にする」共感といったものです。世界にあるまだ出会ったことのない「楽しい」と感じる体験は、知らない世界の扉を開き、探究心や好奇心、困難を乗り越える、前に進む力となります。

＜山賊キャンプの例＞川遊び、ハイキング、キャンプファイヤー、きもだめし、野宿などありとあらゆる遊び、仲間との関わり、ご飯づくり

感じる体験

感じる体験とは、自分の体を通じた五感を刺激し、心が動く体験のことです。知識と情報があふれる時代において、「感じる」とは、人や社会、自然、自分を取り巻くありとあらゆるモノとコトから読み取り、見えるものだけが全てではない世界の中で、時に見えないものを理解する力もあります。自分の身体を通じた感覚が見逃されてしまいがちな社会の中で、自らの「感じる体験」は、自分と出会うことであり、他者や社会、自然といった自分を取り巻くあらゆるものを捉え、関係性を創る力となります。

＜山賊キャンプの例＞仲間と協力する喜び、家族と離れる不安、相談員との関係、川の冷たさ、火の熱さ、暗闇、暑さや寒さ、突然の大雨 など

生み出す体験

食事作りや遊びのルール、計画を立てるなど、自分の暮らしに関わるものを生み出すことです。生み出す行為の過程の中で、モノの成り立ちを知り、関わるが増え、試行錯誤や失敗があります。常に頭を使い「考え」「行動」していきます。無いから有るを生み出す体験は自信となり、次のチャレンジの一步へとつながります。この繰り返しが自らの可能性の環を広げていきます。「生み出す」経験は、自分の人生を自分が主人公となり歩むための土台となります。

＜山賊キャンプの例＞ご飯づくり、キャンプのスケジュール作り、実行委員会、流しそうめん、工作 など

「ねっこ教育」を一年間通して行っている「ねっこ教育」の総本山 山村留学・暮らしの学校『だいだらぼっち』

暮らしの中の学びを丁寧に抽出し、総合学習プログラムとして構成したものが暮らしの学校「だいだらぼっち」です。NPOグリーンウッドの根幹事業であり、理念を最も体現する事業でもあります。1年間、地元の小中学校に通学しながら自然体験や生活体験を楽しみます。全国から集まる20人程度のこどもたちは、大きな山小屋のひとつ屋根の下で、スタッフと共に大家族の一員となって自分たちの力で暮らしを作り上げます。日本最長の長期自然体験教育プログラムとして注目を集めています。

38年間のねっこ教育の成果
(一年間のキャンプ・暮らしの学校 だいだらぼっち参加者述べ約6,244名)

だいだらぼっちでの経験を糧に教育、芸術、医療、農業、国際関係など幅広い分野で活躍。
※参加者のその後はブログ「グリーンウッドの種」にて紹介中！また、現在参加中の子どもたちの様子もホームページにてご覧いただけます。
<https://www.greenwood.or.jp/daidara/index.htm>

暮らしの学校だいだらぼっち 検索

～ 「安心」を確かなものへ ～
 信州こども山賊キャンプ 「3つのクオリティー」

Quality 1. 安全対策

「信州こども山賊キャンプ」が1993年のスタート以来、みなさまに支持され続けている理由のひとつとして、「安全対策」の質の高さが挙げられます。それは安全が守られてこそキャンプの楽しさと学びがあると考え、そのための工夫と努力を行っています。それらの取り組みのいくつかを紹介いたします。

■食の安全

こどもの健康を守る上で食は最も大切なものです。山賊キャンプでは野菜の約9割を地元泰阜村の契約農家に栽培を委託しています。顔の見える農家がこどもたちのためにと低農薬無農薬にもチャレンジしたりと、地元住民のやる気にもつながっています。



野菜を提供してくださっている農家の方と

■こどもの本質を理解した安全対策

野外活動の安全対策はスタッフによる外側からの対策と共に、「自己管理」の意識が重要です。こどもが「自分の身は自分で守れる」ようにするために、「伝わる」「理解できる」「行動できる」安全対策を講じています。

●セーフティトーク

各活動の前には、必ず「危険なこと、気をつけなければならないこと」をこどもたちに考えてもらい、その方法を伝える時間を作っています。こども自身が考える時間があることで理解度が上がるようにしています。

●手洗い

手洗いは野外活動における食中毒予防と共に、感染予防対策の基本です。手に届く場所にアルコールスプレーや手拭き用ペーパータオルを置くこと、手洗い方法をイラストにして手洗い場所に掲示するなどこどもの行動原理に沿って用意しています。

●水分補給

熱中症から身を守る重要な手段は水分補給です。山賊キャンプでは「山賊茶」と呼んでウォータージャグを常時用意し、いつでも飲めるようにしています。参加者に対しては「100杯飲もうぜ、山賊茶！」と耳に残るフレーズにすることで、楽しい雰囲気を作りながら、水分補給を進められるようにしています。

●適度な休息

非日常のキャンプ体験と共に、1日中太陽の下で遊ぶ活動ではこどもたちも大変な体力を消耗します。そこで各キャンプのディレクターはこどもの体力を考慮して活動時間のマネジメントを行います。また昼食は主催者側で提供し、川のそばや木の下などの日陰で休息をとれるようにしています。

■活動の安全

●スタッフスキル（救急救命法・リバーレスキュースキル）

活動の外周からこどもを守るため、世界基準の救命法MFA（メディックファーストエイド）の訓練やレスキュー3といった川の活動スキルを取得し、いざというときの対処法と、「まさか」に備えています。こどもたちが安全に活動できる実際的なスキルを身につけています。

●キャンプ場と緊急避難場所

山賊キャンプは水道、シャワー、トイレが設置された村営のキャンプ場や公共施設等で開催しています。常に後援団体の泰阜村役場と連携を図り、台風などキャンプ場での安全な活動が困難と判断した際には、200名程度が収容できる泰阜村営「あさぎり館」や山村留学施設等に避難します。

●他団体との連携

管轄署である長野県警阿南警察署および泰阜駐在所（共に車で10分）に要請し、キャンプ期間中のキャンプ場周辺パトロールを頻繁に行っていただきます。また、警察だけでなく、管轄の消防署、医療機関、地元自治会などにも協力の要請をお願いし、地域全体の協力体制によって参加者の安全確保に努力しています。



パトロールに来てくださった泰阜村の駐在さん

Quality 2. 様々な教育賞を受賞した確固たる教育システム

■遊びの中でこどもの主体性を育む

山賊キャンプはプログラムがありません。集まったこどもたちに「なにをしたい？」と問いかけ、参加者全員が集まる「山賊会議」で決められます。こどもたちの「やりたい」という意欲をカタチにし、実行することが主体性の第一歩となります。特に遊びを決めるといふこどもたちが一番楽しみにしているもので行っていくので、効果は絶大です。

■必然が仲間との協働を学ぶ場に

毎日の食事作りはグループで行います。メニューは決まっておらず材料だけを渡され、誰が火をおこすか、どんなふうに野菜を切るか、全てこどもたちが決めます。ご飯づくりは仲間と協力しなければできません。「ご飯を食べる」という必然の中で、うまくいかないことがあっても、自ら行動し、協力しあって乗り越えようとする姿勢が身につけていきます。



■自分で発見する

こども自身がやりたいことを存分にすることや、自分の身ひとつで山の中で暮らすことで、こども自身の感性が研ぎ澄まされます。自分が感じる、発見するということは教えられて覚えることの何倍も大切なものです。確かな自信や感じた記憶はこどもの一生ものになります。



スス汚れを灰や草を活用して落とす様子

■社会と繋がる

食器を洗った際の水はどこに行くのか？食べている野菜は誰が作っているのか？自分たちの暮らしが社会とどのように繋がっているのかを知ることはとても重要です。川に直接汚れた水が流れないように食器をふき取ってから洗ったり、土に流して水を処理したり、お野菜マップを作成し、農家の方の顔写真を貼るなど、こどもたちが社会とのつながりを直感で理解できる仕組みを作っています。

Quality 3. スタッフの資質

■こどもの本質を理解している

キャンプのクオリティーを考える上で、プログラムやフィールドがどれだけ優れていても、こどもの活動を支援する指導者が良質でなければキャンプの質の向上にはつながりません。主催者スタッフは山村留学、村の学童保育の運営を行っており、ほぼ365日こどもと関わっています。その活動の中で「こども」の可能性を信じ、各々のこどもの成長に応じて必要なこと、コミュニケーションのあり方を常に考え理解を深めています。

■スキル

現場での経験を支える専門的なトレーニングを積んでいます。例えば、発達心理学、聴く技術、リスクマネジメントの専門家講習。また、よりレベルの高い川での訓練など、常に内面と技術を高めることに努めています。また、自然体験活動指導者資格、河川安全管理国際資格をはじめ、教諭（学校・幼稚園）・保育士・栄養士・調理師などキャンプ活動に関連する資格を取得しています。

持続可能な活動を目指して

温室効果ガスの増加による地球規模の気候変動や海洋プラスチックの問題など、人間の暮らしが地球に与える影響が年々大きくなってきています。キャンプは自然を大切にすることで楽しめる活動です。「暮らしから学ぶ」が活動理念の山賊キャンプだからこそ、自然に大きなインパクトを与えないような活動を実施し、さらにこどもたち自身が自分たちの行動が自然に与える影響を気づく場になるようにしています。自然の中で思う存分遊ぶ。そんな当たり前の風景を守ることが大切にして参ります。

山賊ももちゃんの山賊Q & A



Q どんな場所でキャンプするの？

A 標高500mの山腹、アマゴやオニヤンマが生息する清流のほとりにあるキャンプ場です。周辺は手つかずの森林や昔の山道、大きな滝などがあり、冒険心をくすぐる大自然です。また、スーパーコースは山村留学施設などを拠点にします。(P8~P9参照)

Q キャンプの人数はどのくらい？

A ベーシックコースではだいたい30人から50人程度、チャレンジコースは30人程度が集まります。ゼロコースやスーパーコースは20人程度で実施されます。

Q 山賊キャンプってどんなキャンプ？

A 小学校1年生から楽しめる自然体験メニューが満載のキャンプです。自主性を大切にアットホームな雰囲気の暮らしを軸にした素朴なキャンプです。

Q 連続参加ってできるの？

A 1組だけでは物足りない人におすすめ。ベーシックコースの連続参加、ベーシックコースからそのほかのコースへの連続参加など色々な組み合わせでの参加が可能です。

Q 外でキャンプをするのに安全や衛生は大丈夫？

A 手洗い・うがい・水分補給など主催者側の安全衛生マニュアルに基づいて適切に対応します。

Q ごはんはどうするの？

A 自分たちでメニューを考え自炊するのが基本。薪に火をつけ調理をします。昼食は遊びの時間を確保するため行動食となります。食材はできる限り地元の農家などを利用し顔の見える範囲で供給しております。

Q キャンプ場にはテントってあるの？

A ベーシックコースはドームテント(80人収容)、チャレンジコースはドームテント(50人収容)を使用します。希望によって野宿が可能です。

Q 野外での活動で虫にさされたりはしないの？

A 山賊キャンプでの活動中にカやアブなどの虫にさされることがあります。体質によっては、たくさん刺される可能性もありますので必要な人は虫よけを持ってきてください。持ってくる時は虫よけの使い方をお家で覚えてきてください。

Q もちろんシャワーはあるよね？

A キャンプ場に簡易シャワー室が設置してあります。原則最終日に全員使用します(スーパーコースは五右衛門風呂などを複数回使用)。また、アトピーやとびひなどの皮膚炎のある場合、その他ディレクターの判断で必要に応じて適宜使用します。

Q グループって決まってるの？

A 異年齢縦割り、あらかじめ主催者側で決めてあります。1グループ10人前後男女混合グループでNPOグリーンウッドの指導者研修を受けたボランティアスタッフが2名ほどつきます。
※グループにつきましては主催者側で構成を決めますので、原則ご希望には添えかねますので、あらかじめご了承ください。

Q 遊びの計画はどんなふうを立てるの？

A こどもとスタッフが全員参加する「山賊会議」で話し合って決めます。

Q 台風がきちゃったらどこへ逃げるの？

A 台風や大雨などの災害時にはディレクターの判断で村営施設、あるいは当センター山村留学施設に移動します。

Q 初めてでも4泊で大丈夫？

A 初めてで4泊は不安に思われる方もいらっしゃいますが、4泊には3泊とは違うよさがあります。1日、日数が長いことで体験できることも多いです。失敗したことにもう一度チャレンジする機会も増えます。また出会った仲間ともチームワークを発揮する場面も増えてきます。ホームシックになってしまった子も挽回するチャンスがあるのも4泊の組の魅力です。

Q 万が一ケガしたときは？

A 県立阿南病院まで車で10分(24時間受付)、村営診療所まで車で10分です。保護者に連絡の上、病院に診てもらいます。

Q 初めてのキャンプだから聞きたいことがたくさんあるんだけど…。

A 7月上旬に東京会場やオンラインでの説明会を予定しています。「キャンプ場はどんなところ?」「往復の交通は大丈夫かしら?」「どんなものを持っていけばいいのかな?」「どんな指導者がいるんだろう?」・・・など、初めて参加する人にもわかりやすくご説明いたします。詳しい場所や日程はキャンプに申し込みをされた方に通知されます。ホームページ上でもご案内いたしますのでアクセスしてみてください。

Q キャンプの様子ってHPで見ることができるの？

A 各組のキャンプ終了後1週間程度でNPOグリーンウッド専任スタッフがコメントを添えて公開します。アルバム代わりにご活用ください。お子様の感動もさらに増すものと思います。

2023夏の山賊キャンプの様子はこちら▼

https://www.greenwood.or.jp/sanzoku/sanzoku_yosu2023/sanzoku_yosu2023.html

★山賊キャンプ報告会★



← 2023東京
想い出会の様子

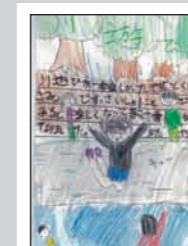


2023名古屋 →
想い出会の様子

NPOグリーンウッドでは、「信州こども山賊キャンプ」の報告会を毎年秋に開催しております。キャンプのクオリティを高めるため、キャンプ参加者、保護者、主催者で、キャンプの様子をふりかえる場を設けております。東京・名古屋会場で9月下旬の開催となります。今年度の開催場所や方法の詳細は、キャンプに参加された方に通知いたします。

★山賊キャンプ参加者の感想ご紹介★

2023年の山賊キャンプに参加したお友だちが書いてくれた感想と絵はがきだよ。たくさんいただきましたが一部のみご紹介いたします!



⑧③組
参加者・Aさん



⑧⑧組
参加者・Aさん



④④組
参加者・Jさん



②①組
相談員・Sさん



③③組
参加者・Sさん



①①組
相談員・Nさん

募集要項

1. 名称

2024夏の信州子ども山賊キャンプ®

2. 目的

信州の地域・暮らしに根ざした自然体験活動を通じて人間の土台を育てる「楽しむ体験」「感じる体験」「生み出す体験」を通し、自分で人生を切り拓く力と社会をつくる力を育む。

3. 参加資格

小学校1年生～中学3年生で、自分で参加の決意をし、やる気のあるもの。
ただし、上記資格に加え、スーパーコース、チャレンジコースについてはチャレンジ精神あふれる者に限ります。ゼロコースについてはゼロから生み出すチャレンジ精神あふれる者、山賊キャンプ経験者かつ小学4年生以上限定です。
※キャンプ参加中、お子様に体調を不良がみられ、回復する様子が見られない場合や新型コロナウイルスなどの感染症に罹患した場合は、現地にてお引き取りをさせていただきます。なお、現地でのお引き取りが困難な方はお申込をお受けできません。

4. 主催・体制

主催：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
後援：文部科学省・林野庁・長野県・長野県教育委員会・泰阜村・泰阜村教育委員会・国土交通省天竜川上流河川事務所

5. 場所・連絡先

場所：長野県下伊那郡泰阜村左京川キャンプ場ほか
緊急連絡先：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター 山賊キャンプ係
TEL：0260-25-2861

※キャンプに関するお問い合わせは、すべて主催者にお問い合わせください。
※キャンプ開催日までの電話受付時間は午前10時～午後7時（土・日・祝日除）までとさせていただきます。ただし5月18日（土）、19日（日）につきましては電話の回線を閉じておりますので、FAXでお申し込みの方は到着確認をお願いします。
※キャンプ中の電話は原則としてお断りしていますが、緊急時のみ上記の電話番号で受け付けます。

6. 募集期間

2024年5月16日（木）午前10時～6月30日（日）

7. 期間・日程

4コース全18組を実施します。下記日程をご参考の上、内容、日程にあわせて希望の組をお決めください。また、組を連続して参加することも可能です。ゼロコースについては山賊キャンプ経験者かつ小学4年生以上限定です。
※いずれのコースにおいても、期間中の途中参加はできませんのであらかじめご承知おきください。

定員	7/23 (火)	7/26 (金)	7/29 (月)	8/1 (木)	8/5 (月)	8/9 (金)	8/12 (月)	8/16 (金)	8/19 (月)	8/25 (日)
B ベーシックコース B1・B2組30名/他50名	B1組 3泊4日 (30名)	B2組 3泊4日 (30名)	B3組 3泊4日 (50名)	B4組 4泊5日 (50名)	B5組 4泊5日 (50名)	B6組 3泊4日 (50名)	B7組 4泊5日 (50名)	B8組 3泊4日 (50名)		
C チャレンジコース 各組30名		C2組 3泊4日	C3組 3泊4日	C4組 4泊5日	C5組 4泊5日	C6組 3泊4日	C7組 4泊5日	C8組 3泊4日		
S スーパーコース 各組20名				S1組 8泊9日					S2組 9泊10日	
Z ゼロコース 20名 ※小学4年生以上 リピーター限定							Z1組 4泊5日			

8. 参加費

参加費は下記表のとおりです。交通費については 9. 交通 をご覧ください。

■ベーシックコース	3泊4日：35,500円	4泊5日：47,000円
■チャレンジコース	3泊4日：35,500円	4泊5日：47,000円
■スーパーコース	8泊9日：114,500円	9泊10日：129,000円
■ゼロコース	4泊5日：57,500円	

※この参加費には交通費は含まれておりません。
※キャンプ中に発生したご本人のけが・病気による経費は保護者負担となります。

内訳

- 食料費 ●人件費 ●保険料
- 通信費 ●研究費 ●消費税
- 材料消耗品 ●施設使用消耗費
- 器具使用消耗費
- キャンプカウンセリング費
- キャンプ運営に必要なその他経費

9. 交通

1. 交通の委託について

- 新宿・名古屋・長野からの往復は、「旅ねっと飯田（有）」がバス会社（信南交通（株））に委託した貸切りバスが運行されます。ただし、参加者数により路線バスなど公共交通機関を使用する場合があります。特に名古屋集合解散については路線バスを使用する可能性が高くなりますので予めご承知おきください。
- 「旅ねっと飯田（有）」及びバス会社の過失に基づく交通事故に関しては、当団体は責任を負いかねます。あらかじめご承知おきください。
- 参加者数が確定しましたら、新宿発・名古屋発・長野発別に人头割した交通費をお知らせします。お知らせの発送日は7月1日頃を予定しております。

2. 交通のキャンセル・変更について

交通費のキャンセルについては、10. 参加費、交通費のキャンセルについてをご確認ください。

＜予想往復料金＞

- 東京・名古屋・長野県内発着全て、片道利用は上記金額の半額となります。

- 新宿往復…12,000円前後
- 名古屋往復…9,000円前後
- 長野（諏訪）往復…9,000円前後
- 長野（駒ヶ岳）往復…8,500円前後
- 長野（飯田）往復…5,000円前後

- *バスの金額につきましては、各方面の参加者数により変更される場合がございます。
- *昨今の原価の高騰によりバス代が値上がりしております、ご理解の程お願い致します。

集合解散場所・時間（予定）について

- *集合前、解散後のお子様の行動は保護者の方の責任となります。
- なお、集合場所で集合時間に集合受付を完了した時を「集合」とみなし、解散場所で解散時間に解散受付を完了した時を「解散」とみなします。その旨ご承知おきください。なお、集合から解散までは団体行動となります。
- *バスの運行につきましては道路事情により集合解散予定時間を大きく前後する場合がございます。あらかじめご承知おきください。
- *集合解散などの詳細・バスの金額につきましては7月1日頃発送の「最終お知らせ」にてご連絡致します。

	集合	解散	所要時間	集合解散場所
新宿（東京）	12：30	12：00	5時間	東京都新宿区西新宿 東京都庁大型車両専用駐車場
名古屋（愛知）	14：30	12：00	3時間	愛知県名古屋市名古屋駅 名鉄バスセンター4F降車ホーム
諏訪（長野）	15：40	9：00	2時間	諏訪IC近辺「おぎのや」
駒ヶ岳（長野）	16：30	8：00	1時間半	駒ヶ岳SA
飯田（長野）	17：10	7：30	1時間	飯田伊賀良バス乗り場
現地	17：00	9：00		NPOグリーンウッド（山賊キャンプ）事務所前

新宿名古屋方面の方は、集合時に昼食・トイレを済ませてお越しください。
※長野県内の交通は新宿または名古屋方面のバスへの途中乗降となりますので、集合解散場所にスタッフはおりません。

10. 参加組、交通のキャンセルについて

1. 参加組のキャンセルについて

申込書提出後キャンセルが発生した場合、その旨を必ずご連絡ください。キャンセル料については、出発日を基準としてキャンセル料金を申し受けます。出発日の14日前から8日前は5,000円、7日前から出発前々日までは8,000円、出発前日は参加費の半額、出発当日以降のキャンセルは全額申し受けます。なお、返金手数料として一律1,000円（振込み手数料＋諸経費）を申し受けます。なお、キャンセルはFAX・E-mail・郵送のいずれかの方法で早めに主催者までご連絡ください。（電話不可）主催者に書類などが到着した時点でキャンセルの受理といたします。参加費を納入しないことはキャンセルの意思表示にはなりませんので、ご注意ください。なお、キャンセル料の返金につきましてはキャンプ終了後（9月1日以降）になります。

<<< キャンセル料 >>>

14日前から8日前	7日前から出発前々日	出発前日	出発当日以降
5,000円	8,000円	半額	全額

2. 交通のキャンセルについて

交通費のキャンセルについては、キャンプ主催者の管轄ではなく、「旅ねっと飯田（有）」の管轄となります。7月10日以降のキャンセルについては全額をご負担いただきます。【旅ねっと飯田（有）より】※ただし、キャンセル・変更など交通の連絡については山賊キャンプ事務局までお願いいたします。

11. 申し込みから参加までの流れ

募集期間 5/16 (木) 午前10時~6/30 (日)

第1次受付期間 5/16 (木) 午前10時~5/18 (土) 午後7時 抽選にて参加組決定。

※第1次受付期間以降、定員に達しない組につきましては6/30(日)まで**先着順**にて受け付けます。

①お申し込み

お申し込みの方法は3通りあります。コースにより参加条件が異なります。**必ずご確認くださいの上お申し込みください。**
 *スーパーコースについては別途作文(A4・1枚程度)が必要となります。
 *記入漏れがありますと受付できない場合もございます。特にFAXでお申し込みの際は、ボールペンなどではっきりとお書きください。
 *健康状態、アレルギー、過去の参加態度等に鑑み、参加を拒否ないしお断りする場合がありますので、あらかじめご承知おきください。



インターネット

<https://www.greenwood.or.jp>

※申し込みデータが届き次第、お申し込みの際に記入されましたメールアドレス宛てに、グリーンウッドから受け取り確認のメールが送信されますので必ずご確認ください。
 万が一届かない場合は、お手数ですが主催者までご連絡ください。なお受け取り確認のメールは参加承諾のメールではございませんのでご注意ください。

インターネットからの申し込み
500円の
割引特典あり



郵送

〒399-1801 長野県下伊那郡泰阜村6342-2
NPOグリーンウッド「山賊キャンプ」係

※日曜祝日の郵便配送はございませんのでご注意ください。



FAX

0260-25-2850

※電話にて受信の有無をお問い合わせいただければ確実です。(土・日・祝日は電話回線は開いておりません。平日の受付時間内にお問い合わせください。)
 ただし、5月18日(土)、19日(日)につきましては電話の回線を開けておりますのでFAXでお申し込みの方は到着確認をお願いします。

	コース名	参加条件
B	ベーシックコース 3泊4日・4泊5日	※小学1年生~中学3年生
C	チャレンジコース 3泊4日・4泊5日	※小学1年生~中学3年生 ※チャレンジ精神旺盛な者
S	スーパーコース 8泊9日・9泊10日	※小学1年生~中学3年生 ※チャレンジ精神旺盛な者 ※途中参加はできませんのであらかじめご承知おきください。 ※本パンフレットスーパーコース紹介ページ(P8~P9)を必ずご覧ください。 ※ 作文提出必須 ＜作文提出について＞ A4・1枚程度。書式など自由。 お申し込みの際に参加動機(なぜスーパーコースに参加したいのかなど)のわかる作文が必要となります。 作文はお申し込み後2週間以内には必ずご提出ください。 作文の提出のない場合や内容によっては参加できない場合がございます。
Z	ゼロコース 4泊5日	※小学4年生~中学3年生の山賊キャンプ経験者 ※ゼロから生み出すチャレンジ精神旺盛な者

作文については手書きのものを郵送またはFAXにてご送付ください。

②お申し込み

第1次受付期間：5/18 (土) 午後7時まで。
第1次受付期間以降：定員に達しない組につきましては6/30 (日) まで。
 *ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。定員に達しない組につきましては2次募集をする場合があります。

③参加承諾書	参加組決定後、約1週間で参加承諾書が郵送にて届きます。 *5月16日午前10時から5月18日午後7時までに受付されたお申込書につきましては、抽選にて参加組が決定した後、約1週間で参加承諾書が郵送にて届きます。 *承諾書をもって参加の内定とさせていただきますので、必ず参加コース及び参加組をご確認ください。 *1週間を過ぎても参加承諾書が届かない場合は山賊キャンプ事務局までご連絡ください。
④参加費入金	参加承諾書に同封いたします振込用紙にて、1週間以内に参加費をご入金ください。 *参加費の入金をもって参加決定とさせていただきます。また、ご入金前であってもキャンセルの際は必ず書面にて山賊キャンプ事務局までご連絡ください。(内定を取り消される場合も必ず主催者までご連絡ください。) *領収書などの発行はいたしませんので、必ず振り込みの控えをお手元に保管してください。
⑤最終お知らせ	7月1日頃、交通費の確定などを記した最終の事務連絡通知をお届けします。 到着後、速やかに開封し、中身をご確認ください。 *「1週間の健康チェックシート」や「事前連絡票」などをこのお知らせに同封いたします。 *最終お知らせが届かない場合は山賊キャンプ事務局までご連絡ください。
⑥「1週間の健康チェックシート」記入	参加の1週間前より「1週間の健康チェックシート」へ朝晩の体温や体調を記入し、自分の体調を確認してください。
⑦事前連絡票	持病、アレルギー、お薬情報、おねしょなど主催者側への事前伝達事項のある方は 最終お知らせに同封の「事前連絡票」 を各組開催の3日前までに事務局へお送りください。また、 食物アレルギーのある方は10日前までにお送りください。
⑧キャンプ参加	集合解散場所・日時(参加組)を再度お確かめの上、お出かけください。 *当日は「1週間の健康チェックシート」・「保険証のコピー」をご提出いただきます。 *当日体調不良によりご参加が難しいとご判断された場合は速やかに事務局までご連絡ください。 (「10. 参加組・交通のキャンセルについて」「12. 参加組の移動について」に従って、キャンセル返金のお手続きを行います。)

12. 参加組の移動について

お申し込み後に組移動を希望される場合は、キャンセルと同様に書面にてお申し込みいただきます。FAX・E-mail・郵送のいずれかの方法で早めに主催者までご連絡ください。(電話不可)
 主催者に書類などが到着した時点で組移動の受理といたします。ただし、定員の問題上ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。結果はできるだけすみやかに主催者より通知いたします。組移動によって参加費に返金差額が発生する場合は、返金手数料として一律1,000円(振り込み手数料+諸経費)を申し受けます。なお、差額の返金につきましてはキャンプ終了後(9月1日以降)になりますのであらかじめご承知おきください。
 ※交通費のキャンセル・変更につきましては、10. 参加組・交通のキャンセルについてをご覧ください。

13. 主催者側がキャンプを中止と判断した場合について

天災(地震・台風・大雪など)やその他の理由(新型コロナウイルス・インフルエンザ・キャンプ開催地に深刻な被害のある場合など)により主催者側で安全にキャンプが実施できないと判断した場合、FAX・E-mail・お電話など申込書に記載していただきました連絡先に直接ご連絡させていただきます。なお、交通災害(道路遮断)等により日程に支障を来し予定通りキャンプを実現できないと判断して中止する場合も含まれます。また、主催者側がキャンプを中止と判断した場合、納入いただいた参加費より、返金手数料として一律1,000円を除いた額を返金いたします。(なおキャンプ開始後の天災などの不可抗力な原因による活動期日の短縮の場合は返金できませんのであらかじめご承知おきください。)
 同様に交通費につきましては交通を委託しております「旅ねっと飯田(有)」より、返金手数料として一律500円を除いた額を返金いたします。

14. 安全管理

各種活動フィールド、施設、移手段等は、基本的に安全確認済みのものです。

また、村立の診療所の他、車で10分の場所に県立阿南病院（24時間受付）があります。当センターでは活動中の事故などに備えて、救急救命救護法の国際インストラクター資格を取得した主催スタッフを現地に配置しております。

しかしながら、山賊キャンプは野外で行うものが多く、それらには危険がつきものです。活動フィールドの下見と対策、リーダー研修の実施、参加者への安全教育など、危険を最小限にするための安全対策を講じておりますが、設備、備品、活動において危険や事故がないということを保証することはできないということをあらかじめご承知おきください。また、万が一に備えて主催者側で下記のとおり一定の傷害保険に加入します。（疾病は適用されません。）

有事の際は、主催者側の過失の有無にかかわらず、その保険によって補償あるいはお見舞いいたします。

※キャンプ期間中の通院につきましては、保護者の方のご負担となりますので、ご承知おきください。

国内旅行傷害保険 契約保険会社・東京海上日動火災保険株式会社

最高限度支給額：1,600万円 入院：1日3,000円 通院：1日1,000円（免責あり）

一人当たり保険料 3泊コース：409円 4泊コース：493円 8泊～9泊コース：685円

※スタッフ等の指示に従わないで起きた事故、お子様同士の事故（喧嘩、いじめ等を含む）、新型コロナウイルス・インフルエンザによる事故、事前申告にないアレルギー等の身体的ないし精神的疾患による事故、熱中症による事故、その他出発前・解散後の事故については一切の責任を負いかねますので、お子様への事前のご注意をお願いいたします。また、上記のような場合、キャンプ途中で迎えをお願いする場合もございますので、あらかじめご承知おきください。

15. スタッフ体制について

キャンプ期間中のプログラム運営における総括責任者、食材管理・衛生管理責任者、物資管理・運搬責任者は、主催者スタッフ及び主催者から委嘱された自然体験活動上級指導有資格者がその任にあたります。また、参加者（子ども）と共に生活し、行動や心のケアをするのは、相談員（ボランティアリーダー）及び補助相談員（ボランティアジュニアリーダー）です。

●相談員（ボランティアリーダー）

主催団体の研修（安全管理・コミュニケーション等）を修了した大学生や社会人がその任にあたります。主催者はボランティアリーダーに対しても自然体験活動リーダー資格取得講座を設け、専門技能習得を奨励しています。（以上全国体験活動指導者認定委員会登録資格）

●補助相談員（ボランティアジュニアリーダー）

相談員のアシスタントとして、正規の研修を受けた高校生が活躍します。子どもたちのキャンプ生活をサポートする役割を果たします。毎年、多くの山賊キャンプのOB・OGが参加しています。

16. 個人情報保護について（グリーンウッド個人情報保護ポリシーより）

- 参加者より取得した氏名、年齢、住所等の個人情報は当センター方針に基づき管理・保管しており、お客様の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。
- 今後当センターよりの各種ご案内やアンケートなどを、E-mail、郵便等によりお客様に送信もしくは送付させていただく場合がございます。また、お客様のお申し出により、これらの取扱いを中止させることができます。
- キャンプ開催中に撮影しました写真、動画などにつきましては主催者側でHPやSNS、YouTube、パンフレットなどの広報活動・その他自然体験教育の普及・推進のために使用する事がございます。（撮影は原則主催者のみ行います）あらかじめご了承ください。ただし、氏名・住所は掲載・公開いたしません。なお、ボランティアとして参加した学生の大学のパンフレットやHPに写真が掲載されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- キャンプ期間中にテレビ、新聞などの取材がある場合もございます。その際には氏名などが掲載される場合もございます。あらかじめご了承ください。テレビ、新聞などの取材が開始された後に、放送、取材を拒否することは、放送局、新聞社等に損害を与えますのでお断りします。
- グリーンウッドが掲載しているホームページ上の写真や配布したものなどについては個人の一次的な用途のみにお使いください。二次利用として、ホームページ・ブログ・SNSなど、また何らかの紙面に転載することはおやめください。
- 写真、ビデオなどの使用に際し、不都合のある方はあらかじめ（キャンプ開催まで）当センターまでご連絡ください。

17. 各種感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症をはじめ各種感染症や食中毒への対策として、グリーンウッドでは各種ガイドラインを策定し予防に努めております。特に下記の対応を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1) 事業実施時の感染防止策

- 運営スタッフの毎日の健康チェック
- 参加者及び運営スタッフの事業実施中の健康チェック・検温の実施
- 参加者及び運営スタッフの手洗いの徹底
- 参加者集合時の検温

その他「NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における感染症対策ガイドライン」に準じた対応を行い、感染防止に努めます。

2) 免責事項について

当法人は、「NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における感染症対策ガイドライン」に従い、各種感染症への対策を講じております。万が一、新型コロナウイルス感染症など各種感染症へ罹患及び濃厚接触が生じたとしても、不可抗力を理由として当法人は責任を負いかねますのでご理解の程をお願いいたします。

3) 参加される皆様へのごお願い

①開催1週間前からの検温を含む健康チェックシートの記入と提出

最終お知らせとともに「1週間の健康チェックシート」をお送りいたしますので、開催1週間前からの体調管理とチェックシートへの記入をお願いいたします。

②下記に該当する場合における参加の取りやめの判断

- キャンプ参加前に保護者の方が健康状態を確認し、発熱、下痢等、共同生活に耐えられないと判断される場合。
- 特に今夏も新型コロナウイルス感染症はじめ、手足口病・プール熱・ヘルパンギーナなどの流行も懸念されますので、キャンプ参加1週間前に同居するご家族などで流行性疾患などの発生があった場合の参加について慎重にご検討ください。
なお、万一参加中に発症のあった場合には、お迎えをお願いいたします。

③キャンプ実施中の体調不良の際のお迎え

キャンプ参加中、お子様に体調不良がみられ、回復する様子が見られない場合や新型コロナウイルスなどの感染症に罹患した場合は、現地（長野県泰阜村）にてお引き取りをしていただきます。なお、現地でのお引き取りが困難な方はお申込をお受けできません。なお、その際の参加費につきましては返金いたしかねますのでその旨ご承知おきください。

18. その他

- 持ち物につきまして持ち物一覧表をご参照ください。参加承諾書にも同封しますのでご覧ください。
- 持ち物の紛失、破損（汚れを含む）についての責任は負いかねますことを予めご承知おきください。
- お電話の受付時間は午前10時から午後7時までとさせていただきます。（土・日・祝日除）
FAX、E-mailにつきましては、随時受付を行っております。ただし、営業時間外のお問い合わせ等についての返信は翌営業日以降となりますので、予めご了承ください。
- その他詳細事項につきましては、参加承諾書発送時、最終お知らせ発送時にお知らせいたします。
- 募集要項を含めパンフレットまたはHP等すべてをご覧いただいた上でお申し込みください。



***** 持ち物一覧表 *****

★ かならず自分で荷物を用意してかばんにつめてね！
★ どんな小さいものにもかならず名前を書いておいてね！

★の持ち物は小さめのリュックに入れてきてね！

	■ 小さなリュック 大きいリュックとは別に、ハイキングやバスで使うのに必要です。ナップザックでもいいです。		■ 大きなリュック 特に低学年のお子様には両肩で背負うタイプをお勧めします。肩から下げると、両肩で背負うのとはかなり重さの感じ方に違いがあります。
	■ 水筒 行きのバスで飲むお茶を入れてきてください。キャンプ場で飲むお茶は用意してあります。		■ 食器 食事の基本はごはん・汁物・おかずです。おわん1つ・お皿1つ・コップ・はし・スプーンがあれば十分です。 ※消毒、やけど、けがの関係上プラスチック製のものをお勧めします。
	■ 米1kg(7合) キャンプ中にみんなが食べる分です。連続参加する人も1kgでいいです。		■ 雨がっぱ 山の天気は変わりやすいです。多少の雨の場合でも、野外で火をおこします。上下が分かれているカッパであれば、扱いやすいでしょう。
	■ 新聞紙 一枚あれば良いです。火おこしにも使えますし、雨の場合は水を拭き取ることに使えます。		■ 懐中電灯 夜にきもだめしやナイトハイクを行うこともあります。夜の行動には必ず必要です。替えの電池があるといいです。
	■ 受付時提出書類★ 保険証のコピー & 1週間の健康チェックシート。万が一けがをしたときには絶対必要です。1週間前からの健康チェックも忘れずに行ってください。		■ 体温計 毎日体温を測りますので、日常お使いのものをお持ちください。
	■ マスク バスの中などでマスクをつけることもあります。不織布のマスクを日数分持ってきてください。		■ 名札 どのようなものでもいいです。自分が呼ばれたい名前(キャンプネーム)を書いて、集合場所からつけてきてください。
	■ 半そで・短パン 泰阜村は信州の中でも南に位置します。天気予報も名古屋あたりを参考にすることもあります。日中は暑いので、泊数分ご用意ください。		■ 軍手 火をおこす時や、工作の時に必要です。化繊のものは溶けてやけどの原因になります。必ず純綿の軍手をご用意ください。※お名前をお書きください。
	■ 化繊のTシャツ 夏の日差しはとて強いので、川遊びの時などに水着の上から着られるTシャツが1枚余分にあるといいです。化繊だと乾くのも早いです。		■ 帽子 熱中症予防のために、必ず持ってきてください。帽子がなければ外で遊べません。帽子がないだけで、自然体験では大きなリスクになります。
	■ 水着 キャンプ場のすぐ横は水道水に使えるような透明な左京川。何を忘れてもこれだけは忘れないようにしましょう。ゴーグルもあると、川の中の魚をのぞけます。		■ 長そで・長ズボン 朝晩の冷え込み、虫除けに1セットは欲しいかな！お盆過ぎのキャンプに参加する人はトレーナーも1枚あったほうがいいかもしれません。
	■ サンドル 必ずかかとが止められるものにしなさい。川には岩や石が当然あります。歩きやすいものでなければ、お子様も思いっきり遊べません。しっかりと足にとめられるサンダルが良いですね。アクアシューズでも構いません。		■ 下着 泊数分あれば安心です。
	■ ビニール袋 汚れ物を入れたり、ぬれたものを入れたりします。		■ 運動ぐつ 外で焚き火をしたり、ハイキング時には必要になりますので必ず持ってきてください。(参加当日はいてきてください。)
	■ 筆記用具(ひっきようぐ) キャンプでできた友達と住所交換したり、絵をかいたりします。キャンプから帰った後で、キャンプ事務局に住所のお問い合わせをいただくこともあります。個人情報保護の観点より、お答えできないことをご理解ください。		■ 寝袋 基本的にどんなものでも構いませんが、必ず必要です。夏用の薄手のもので十分です。スポーツ用品店やホームセンターでも売っています。※寝袋の袋にもお名前をお書きください。
	■ タオル・バスタオル 川遊びの後やシャワーの時に使います。シャブーや石鹸はこちらにあるものを使います。(川用1,2枚・シャワー用1枚・洗面用1枚)		■ 洗面用具 ハミガキセットです。毎日のハミガキや洗面で必要です。

- ★必要なら持ってきてね！
 - 常備薬(いつも飲んだり、塗ったりするお薬がある人はかならず持ってきてください。)
 - 虫よけ(虫にさされやすい環境です。虫さされが気になる人は必ず持ってきてください。)
 - ゴーグル(とてもきれいな川なので、あると川の中がのぞけます。)
 - その他(ないと困るものは持ってきてください。)
- ★持ってきちゃだめだよ！
 - おかし・ジュース(これは準備しておくから心配しなくていいです。)
 - おもちゃ(テレビゲームなどのおもちゃはお家へ帰ってからやってください。)
 - カメラ(カメラより目や心に風景や思い出をきざんでいってください。)
 - 余分な衣類(着ない服は荷物が重くなるだけ。自分でリュックを背負えるだけの量にしてください。)
 - 現金(なくしたりすると大変です。持ってこないでください。)
 - 宿題(キャンプへ来る前に終わらせるかキャンプが終わってからやってください。)
 - 時計(時間にとらわれないキャンプがしたいのもってこないでください。)
 - 携帯電話(キャンプでは使わないから持ってこないでください。)
 - 親の期待
- ★その他
 - 荷物を入れる大きなリュックについて：自分で運べるサイズの大きさと荷物の量ならどのようなものでもよいですがバスを降りてから10分ぐらい歩くので、なるべくなら肩に背負えるリュックがおすすめです。
 - 洗濯について：連続参加の人はキャンプの途中で洗濯の時間をとります。(洗剤や洗濯バサミは洗濯場にありませぬ。)
 - その他何か質問があればTEL・FAX・E-mailにて受け付けております。お気軽にお問い合わせください。(受付時間午前10時～午後7時・土日祝日除く)
 - 万が一持ってきてはいけないものを持ってきた場合、キャンプの趣旨を鑑み、期間中、主催者で預らせていただくことがあります。また、なくしてしまった場合には責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2024 夏の信州こども山賊キャンプ申込書

スタディクーポンコード	※スタディクーポンをご利用される方はコードをお書きください。				
参加希望組 (参加希望組をご記入ください。連続参加希望の方は(連続)とお書きください。)					
第1希望		記入例 ベーシック1組希望の場合⇒ B1 同様に、チャレンジコース(C) / スーパーコース(S) / ゼロコース(Z) ※コース名称について、記入漏れのないようご注意ください 連続参加の場合⇒ B1, B2 (連続)			
第2希望					
第3希望					
集合地・解散地 (番号を○で囲んでください。長野県内ご希望の方は3.長野に○をした上で①～③についてもお選びください。連続参加希望の方は最初の組の集合地と最後の組の解散地をお書きください。)					
集合解散とも	1. 新宿	2. 名古屋	3. 長野 (①諏訪 ②駒ヶ岳 ③飯田)	4. 現地集合解散	
集合のみ	1. 新宿	2. 名古屋	3. 長野 (①諏訪 ②駒ヶ岳 ③飯田)	4. 現地集合	
解散のみ	1. 新宿	2. 名古屋	3. 長野 (①諏訪 ②駒ヶ岳 ③飯田)	4. 現地解散	
参加希望者について					
ふりがな		平熱	度	車酔い	1.する 2.しない
氏名		血液型	A・B・O・AB・不明 / RH()		
性別	1.男 2.女	年齢	歳	生理	1.ある 2.ないがそろそろ心配 3.問題ない
生年月日	平成 年 月 日	アレルギー		1.ある 2.ない	
保護者との続柄		※1. あるとお答えの方は必ずアレルギーの詳細を右へお書きください。 ※特に食物アレルギーのある方は必ずお書きください。			
学校名	小 中 学 年 年	山賊キャンプへの参加		今回が初めて・以前参加	
服用できない薬	1.ある () 2.ない				
保護者・住所連絡先などについて (緊急時連絡先について必ずご記入ください。)					
ふりがな		職業			
保護者氏名	〒()-()		※マンション名などありましたら必ずお書きください。		
住所	()-()		電話番号 ()-()- ()		
電話番号	Fax ()-()- ()		E-mail ()@ () ()		
緊急時連絡先	※申し込み時、集合解散時に連絡することがございます。				
その他連絡事項					
山賊キャンプを知った経緯	同組希望		※同じ組を希望される方(ご友人、ご兄弟など)がいる場合お名前をお書きください。 ※お名前のある方全員が抽選に通った場合にのみ組の確定となります。		

●【必須】お子さんの性格、個性、関心、健康状態について具体的に教えてください。(キャンプカウンセリングの参考にさせていただきます。)

●【必須】山賊キャンプでやりたいことを参加するお子さん自身でお書きください。

●参加の決意をお子さん自身でお書きください。(分からなければ意味を説明してあげてください。)パンフレットに書かれている最長老のおきてを守ることができる人は下にサインをしてください。

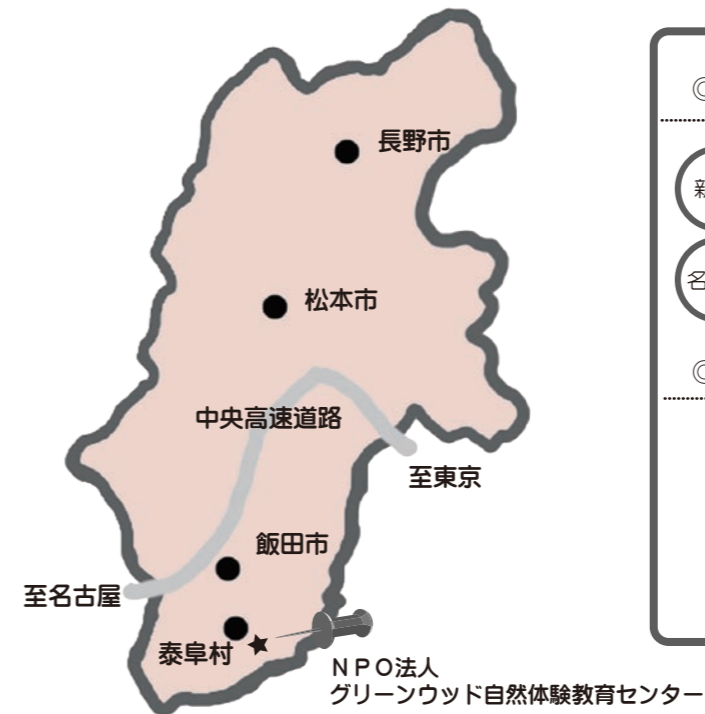
わたしはおきてを守り楽しくキャンプする山賊となることをここに誓います。

記入日 2024年 月 日 参加者氏名 (自署)

●以上2024夏の信州こども山賊キャンプのパンフレットに記されている事項のすべてを承諾・賛同して参加を申し込みます。なお、キャンプ参加中に、上記参加者が負うべき責任については、これを保護者が負います。

記入日 2024年 月 日 保護者氏名 印

長野県マップ



◎車利用の場合



◎電車利用の場合



(詳細はお問い合わせください。)

長野県泰阜村

長野県の南部、天竜川の東側に位置し、豊かな自然とふるさとの味と香り、伝統ある文化に恵まれた風光明媚な山村です。四季の自然美を楽しみながら水しぶきにぬれて天竜川を下る「天竜ラインくだり」、信州の代表的秘境「万古溪谷」は沢歩き、溪流釣り、キャンプ等に訪れる人を楽しませてくれます。

また、昭和初期の農村不況の中、児童生徒の情操を深めるために作品の収集を始め、現在400点余を収蔵する全国的にも希な村立「学校美術館」があります。

人口は約1500人。素朴な村の人たちと豊かな自然が皆さんをお待ちしています。

泰阜村公式HP <https://www.vill.yasuoka.nagano.jp/>

2024夏の信州こども山賊キャンプ®

発行日：2024年4月1日

発行者：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

発行責任者：辻 英之

編集担当者：辻 典子